

問1	中央銀行である日本銀行が行う業務のうち、「発券銀行」としての役割にあてはまる説明として最も適当なものはどれですか。（2025年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 国内で流通する紙幣（日本銀行券）を独占的に発行・管理する。	2. 税金の収納や国債の発行など、国の資金に関する業務を行う。	3. 市中の一般の銀行に対して資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。	4. 一般の企業や個人に対して資金の貸し出しや口座開設を行う。
問2	景気が悪化している局面において、日本銀行が「買いオペレーション」を実施した場合、市場ではどのような変化が起きると考えられますか。最も適切なものを選びなさい。（2021年 新潟県公立入試 類似）			
	1. 日本銀行が国債を売却した影響で、市場の通貨が回収され、インフレーションが鎮静化する。	2. 世の中の資金供給が制限されることで、銀行の貸出金利が上昇し、住宅ローンの利用が減少する。	3. 民間銀行が保有する資金量が増え、企業への貸し出しや投資が行われやすくなる。	4. 民間銀行から資金が吸い上げられるため、市場の通貨量が減少し、通貨の価値が上昇する。
問3	日本銀行が不況期に買いオペレーションを行い、市場に流通する通貨量を増やした結果、期待される経済への影響として適切なものを選びなさい。（2023年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 銀行の貸出金利が上がり、個人の貯蓄意欲が高まることで消費が抑制される	2. 通貨の価値が急激に高まり、輸入品の価格が安くなることでデフレが進行する	3. 銀行の貸出金利が下がり、企業が資金を借りやすくなることで設備投資が活発になる	4. 政府の借金である国債がすべて回収され、国の財政赤字が解消される
問4	日本の経済において「円高」が進行した場合に生じる具体的な影響として、最も適切なものはどれですか。（2026年 三重県公立入試 類似）			
	1. 海外から輸入する天然ガスや小麦の価格が下がるため、国内の物価を安定させる要因となる	2. 海外での販売価格が相対的に安くなるため、自動車などの輸出企業の利益が増大する	3. 海外旅行へ行く際、現地のホテル代や食事代として支払うための円が、円安時よりも多く必要になる	4. 日本を訪れる外国人観光客にとって、本国通貨を円に換えた時の金額が増えるため、観光消費が伸びる
問5	日本では、2024年度から北里柴三郎の肖像が描かれた新しい千円札などの紙幣が導入されました。これらの「日本銀行券」を国内で唯一発行することができる、日本銀行が持つ役割を何といいますか。（2021年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. 普通銀行	2. 政府の銀行	3. 銀行の銀行	4. 発券銀行
問6	貨幣の働きに関する具体的な場面を想定したとき、「交換手段」としての機能が最も直接的に表れている説明として適切なものはどれですか。（2021年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. 国や地方自治体に対して、期限までに定められた金額の税金を納付する。	2. 将来の大きな買い物に備えて、毎月の給与の一部を銀行口座に預金して蓄える。	3. 文房具店において、代金として100円硬貨を支払い、ノート1冊を受け取る。	4. スーパーマーケットにおいて、商品の棚に「150円」と書かれた値札が付いているのを確認する。
問7	かつて行われていた「物物交換」と比較したとき、社会に貨幣が普及したことで得られた経済的な利点として、適切な説明はどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）			
	1. 貨幣自体が食べ物や衣服のように生活に直接役立つため、交換しなくても豊かになれるようになった。	2. 貨幣があれば労働をする必要がなくなり、社会全体の生産性が飛躍的に向上した。	3. すべての商品の価値が貨幣の素材（金属など）の重さだけで決まるようになり、価格変動がなくなった。	4. 自分の欲しいものと相手の欲しいものが一致しなくても、貨幣を介することで取引が可能になった。
問8	景気後退期において、日本銀行が公開市場操作の一環として「買いオペレーション」を実施した際、金融市場で直接的に起こると予想される変化はどれですか。（2023年 兵庫県公立入試 類似）			
	1. 日本銀行の保有する資金量が増加し、政府の財政支出が拡大する。	2. 民間銀行が保有する資金量が減少し、市場の利子率が上昇する。	3. 民間銀行の国債保有量が増加し、企業への融資額が減少する。	4. 民間銀行が保有する資金量が増加し、市場の利子率が低下する。
問9	日本の中央銀行である日本銀行が果たす役割について、その業務内容を正しく説明しているものを選んでください。（2023年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 政府の指示に基づいて、毎年の国の予算案を作成し、税金の徴収を直接行う役割	2. 輸出入の制限や関税の決定を行い、海外との貿易を直接管理する役割	3. 日本で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行することができる「発券銀行」としての役割	4. 家計の預金を預かったり、一般企業に対して事業資金の貸し出しを行ったりする役割
問10	政府と日本銀行は協力して景気の調整を行っています。日本銀行が景気後退期に行う金融政策として、正しい内容はどれですか。（2016年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. 公共事業への支出を増やし、失業者を雇い入れることで国民の所得を直接的に増やす。	2. 日本銀行が直接、すべての民間企業に対して製品の価格を下げるよう命令を出す。	3. 市場から国債を買い入れ、世の中の通貨量を増やすことで金利を下げ、企業が資金を借りやすくなる。	4. 所得が高い人ほど高い税率を課す累進課税制度を強化し、社会の貧富の格差を是正する。
問11	企業が証券市場を通じて、投資家から直接資金を集める方法について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）			
	1. 日本銀行が市中銀行から国債を買い入れることで、世の中の通貨量を増やす仕組み。	2. 企業が他の企業から設備を借り、その利用料を支払うことで初期投資を抑える仕組み。	3. 企業が銀行などの金融機関から融資を受け、元本に利子を加えて返済する仕組み。	4. 企業が株式や社債を発行し、投資家がそれを購入することで資金を調達する仕組み。
問12	景気が後退し、物価が下がり続けるデフレ傾向にあるとき、日本銀行が市場に出回る通貨の量を増やして景気を刺激しようとする際に行う操作として、最も適切な説明を選択してください。（2017年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 日本銀行が保有する国債を民間の金融機関に売り、その代金を回収することで市場の資金を減らす。	2. 政府が道路や橋などの公共事業への支出を増やし、社会全体の仕事の量を増やす。	3. 公正取引委員会が価格カルテルを制限することで、企業間の公正な競争を促進する。	4. 日本銀行が民間の金融機関から国債を買い入れ、その代金を支払うことで市場の資金を増やす。
問13	日本銀行が「買いオペレーション」を実施し、金融機関が保有する通貨量を増やした際、その後に期待される経済の仕組みと効果について述べたものとして正しいものはどれですか。（2015年 長崎県公立入試 類似）			
	1. 通貨の価値が上がることで、輸入品の価格が安くなり、国民の消費が抑制される	2. 金利が下がり、企業や個人が資金を借りやすくなることで、経済活動が活発になる	3. 銀行の貸し出しが制限されることで、企業の倒産を防ぎ、通貨の安定が図られる	4. 金利が上がり、人々の預金意欲が高まることで、物価の上昇が抑えられる

答え合わせ・解説

問1	答え 1 国内で流通する紙幣（日本銀行券）を独占的に発行・管理する。	日本銀行が「発券銀行」と呼ばれるのは、国内で流通する紙幣を独占的に発行・管理する権限を持っているためです。一般の銀行に対して貸し出しを行う業務は「銀行の銀行」、国の税金や国債に関する業務を行う役割は「政府の銀行」にあてはまります。
問2	答え 3 民間銀行が保有する資金量が増え、企業への貸し出しや投資が行われやすくなる。	買いオペレーションが実施されると、日本銀行が代金を支払うことで、民間銀行の手元にある資金が増加します。銀行は余った資金を企業への融資や個人へのローンに回そうとするため、市場全体の金利が低下し、経済全体にお金が回りやすくなります。これは不景気を脱出するための典型的な金融政策の手法です。
問3	答え 3 銀行の貸出金利が下がり、企業が資金を借りやすくなることで設備投資が活発になる	買いオペレーションによって市場に出回る通貨量が増えると、お金を借りやすくなるため、銀行の貸出金利（利子率）が低下します。金利が下がれば、企業は新しい工場を建てるための資金を借りやすくなり、個人も住宅や自動車のローンを組みやすくなるため、社会全体の投資や消費が促進され、景気の回復へとつながります。国債の回収は一時的な通貨量調整の手段であり、国の財政赤字そのものを解消する仕組みではありません。
問4	答え 1 海外から輸入する天然ガスや小麦の価格が下がるため、国内の物価を安定させる要因となる	円高の状態では、円の価値が高いため、海外の製品をより少ない円で買うことができます。そのため、海外から輸入される原材料（エネルギー資源や食料品など）の価格が下がり、国内の物価を抑える効果があります。一方で、輸出企業にとっては、海外でドルで売り上げた利益を円に戻す際に目減りしてしまうため、一般的には不利益となります。また、外国人観光客にとっては日本での買い物が高くてつようになり、インバウンド消費には不利に働きます。
問5	答え 4 発券銀行	日本銀行は、日本で唯一の「日本銀行券」を発行する権限を持つ中央銀行です。この役割を「発券銀行」と呼び、私たちが普段使用している一万円札、五千円札、千円札などの紙幣を供給しています。一方、硬貨（貨幣）については日本銀行ではなく政府が発行しています。
問6	答え 3 文房具店において、代金として100円硬貨を支払い、ノート1冊を受け取る。	貨幣を介して特定の財（この場合はノート）を入手する行為は、貨幣が交換の媒介となっていることを示しており、これが「交換手段」の典型的な例です。値札で価格を確認するのは「価値の尺度（モノの価値を測る基準）」、預金は「価値の保存（富を蓄える）」という別の機能を説明したものです。
問7	答え 4 自分の欲しいものと相手の欲しいものが一致しなくても、貨幣を介することで取引が可能になった。	物物交換では「自分が持っているもの」と「相手が欲しがっているもの」が完全に一致しなければ取引が成立しませんでした。しかし、貨幣が交換手段として機能することで、いったん商品を貨幣に換え、その貨幣を用いて別の場所や時間で自分が必要なものを手に入れることができるようになりました。このように、貨幣は交換の不一致を解消し、取引を円滑にする背景を持っています。
問8	答え 4 民間銀行が保有する資金量が増加し、市場の利子率が低下する。	公開市場操作（買いオペレーション）は、日本銀行が国債を買い取る対価として、民間銀行の当座預金口座に代金を振り込む形で行われます。これにより民間銀行の資金量（通貨供給量）が増えるため、資金の借り手にとってのコストである「利子率（金利）」が低下するメカニズムになっています。
問9	答え 3 日本で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行することができる「発券銀行」としての役割	日本銀行は、日本で唯一の「発券銀行」として、日本銀行券（紙幣）の発行・管理を行っています。これに加え、民間の金融機関から預金を受け入れたり貸し出しを行ったりする「銀行の銀行」としての役割や、国庫金の出し入れや公債の発行など、国の資金を管理する「政府の銀行」としての役割を担っています。一般の個人や企業が日本銀行に口座を作り、預金することはできません。
問10	答え 3 市場から国債を買い入れ、世の中の通貨量を増やすことで金利を下げ、企業が資金を借りやすくする。	日本銀行が行う景気対策は「金融政策」と呼ばれます。景気が停滞している局面では、買いオペレーションを通じて市場の通貨量を増やし、金利を低下させることで、企業が設備投資のためのお金を借りやすい環境を整えます。一方、公共事業の拡大や税制の変更は政府が行う「財政政策」に該当します。日本銀行は市場の通貨量や金利の調節を通じて間接的に景気に影響を与えるのであり、個別の企業の価格を直接決定する権限は持ちません。
問11	答え 4 企業が株式や社債を発行し、投資家がそれを購入することで資金を調達する仕組み。	直接金融は、企業が自ら発行した株式や社債を投資家が直接購入することで、銀行などの仲介を介さずに資金を調達する仕組みを指します。投資家は企業の業績や将来性を判断して、直接リスクを負いながら投資を行います。
問12	答え 4 日本銀行が民間の金融機関から国債を買い入れ、その代金を支払うことで市場の資金を増やす。	不況の際には、日本銀行が民間の金融機関から国債などを買い取る「買いオペレーション」を行います。これにより、代金として支払われた現金が民間金融機関に流れ、企業や個人への貸し出しが容易になることで、経済活動を活性化させる狙いがあります。国債を売る操作は、景気が過熱してインフレの恐れがあるときに行われる逆の操作です。
問13	答え 2 金利が下がり、企業や個人が資金を借りやすくなることで、経済活動が活発になる	買いオペレーションによって金融機関に資金が供給されると、市場での資金供給が過剰になり、お金を借りる際の利息（金利）が低下します。金利が下がれば、企業は設備投資のための資金を借りやすくなり、個人も住宅ローンなどを組みやすくなるため、停滞していた景気を回復させる効果が期待されます。